

〔暫定的な採点メモ〕

試験お疲れさまでした。一年生は初めての大学の試験でしたが、いかがでしたか。

さて、いま採点をしているところですが、いくつか気になった点がありますので、以下に暫定的に列挙します。詳しくは後日、正式な「試験講評」として掲出します。

- ◇ 出題と無関係な解答は、いくら書いても0点です。どこかで模範解答例が出回ったのか、「1920年代の日米の経済関係」について書き連ねた答案が複数枚見つかりましたが、すべて0点をつけています。
- ◇ 出題は「1895年から1918年」と時期を指定していますので、1905年のポーツマス条約までで記述が終っている答案は、著しく点数が低くなります（50点くらい）。1895～1905年では、指定する時期の半分（50点ぶん）以下にしか当りませんから。さらに、事実誤認や記述の不十分さなどで点を引きますので、そのような答案の多くは、30～40点しか点がありません。
- ◇ 補講で「記述答案の書式」について、かなり詳しく説明しました。それにもかかわらず、箇条書き形式の答案などが複数見つかりました。これらについても、かなり大きく点を引いています。

（7月31日追記）

ひととおり、採点を終わりました。今年は例年になく、厳しい評価になりそうです。

- ◇ 申告書に「講義、とても面白かったです」とか、「歴史に対する見方が変わりました!」とか、「ゼミも取りたいです」とか、いろいろ書いてくれた皆さん、どうもありがとうございます。心より感謝します。
- ◇ ただ、実にありがたいのですが、そう書いてくれた人のうちでも、かなりの人数を不合格にしまいました。ごめんなさい。そう書いてもらっただけで単位を出してしまうと、来年以降、悪智慧のある学生が、おんなじことを申告書に書いてくるのが目に見えてますので。ここは心を鬼にして「それはそれ、これはこれ」で採点をしました。
- ◇ 誤解のないように書いておきますが、今回の試験で単位を落としたからといって「お前はゼミを取るな」と通告しているわけではありません。あくまで、それとこれは別問題なので、政治外交史1の単位を落とした学生であっても、ゼミに出願してきたら公平に審査します。
- ◇ たぶんゼミは、少人数のぶんだけ、講義よりも遥かに面白いとおもいます（当社比）ので、興味のある皆さんは、単位を落されたとしてもくじけずに、秋の出願のさいに検討してみてください（ちなみにゼミの方は、過去に単位を落した学生は一人もいません）。

以 上